

景色を作る擁壁

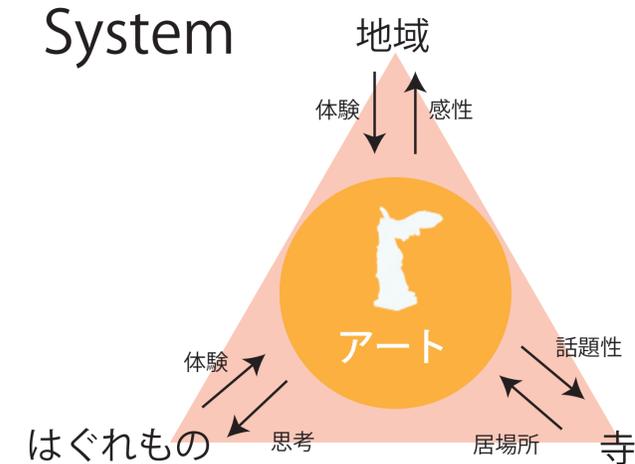


01 Concept

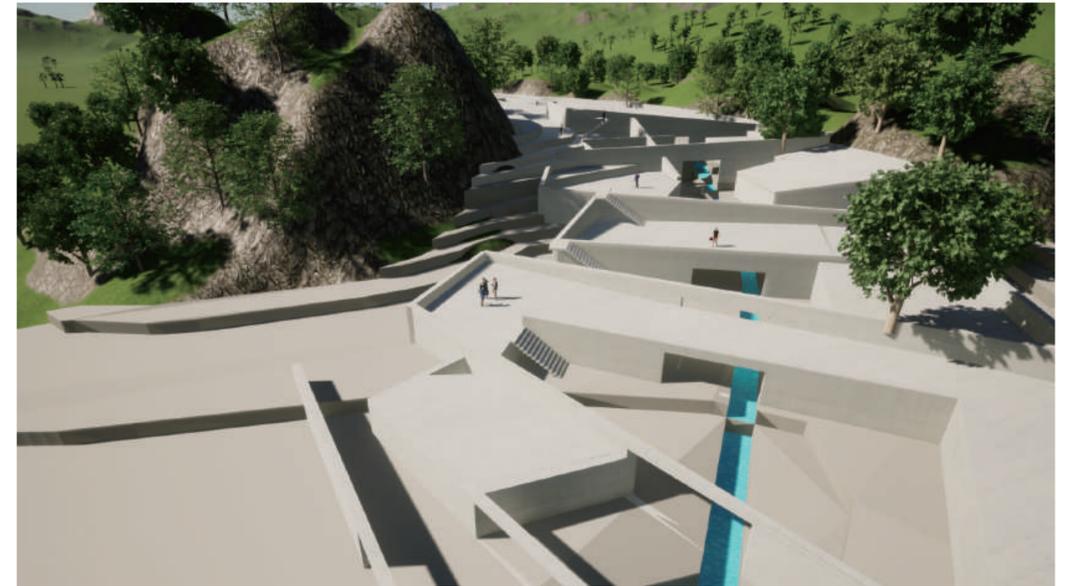
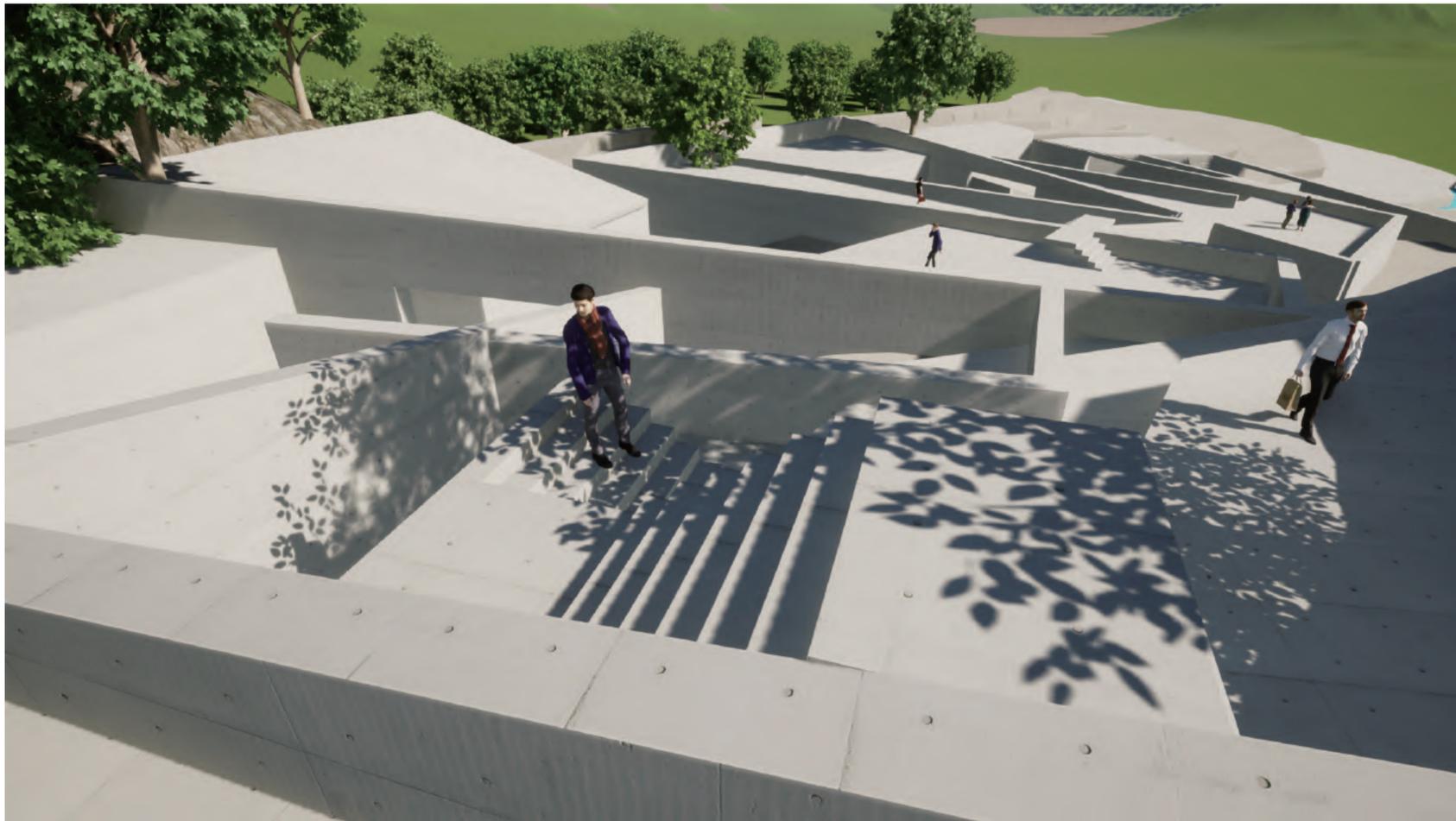
近年は医療の発達により肉体的な傷は多く治るようになった。しかし心に負う精神的な傷はなかなか癒すことが難しく、一度社会や集団から離脱した人は復帰が難しい現状にある。

今回の敷地である法多山門前町は道路から山の中へ入っていくような奥地に位置している。その為この地では、商業的な再生だけでなく心が疲弊し世界から外れてしまった人たちを受け入れることが出来る、かつてのお寺が持っていた許容性を持つべきだと考えた。さらにこの地が地域との関わり合いの中から再スタートがの助けとなるような能力を持たせようと考えた。

02 System



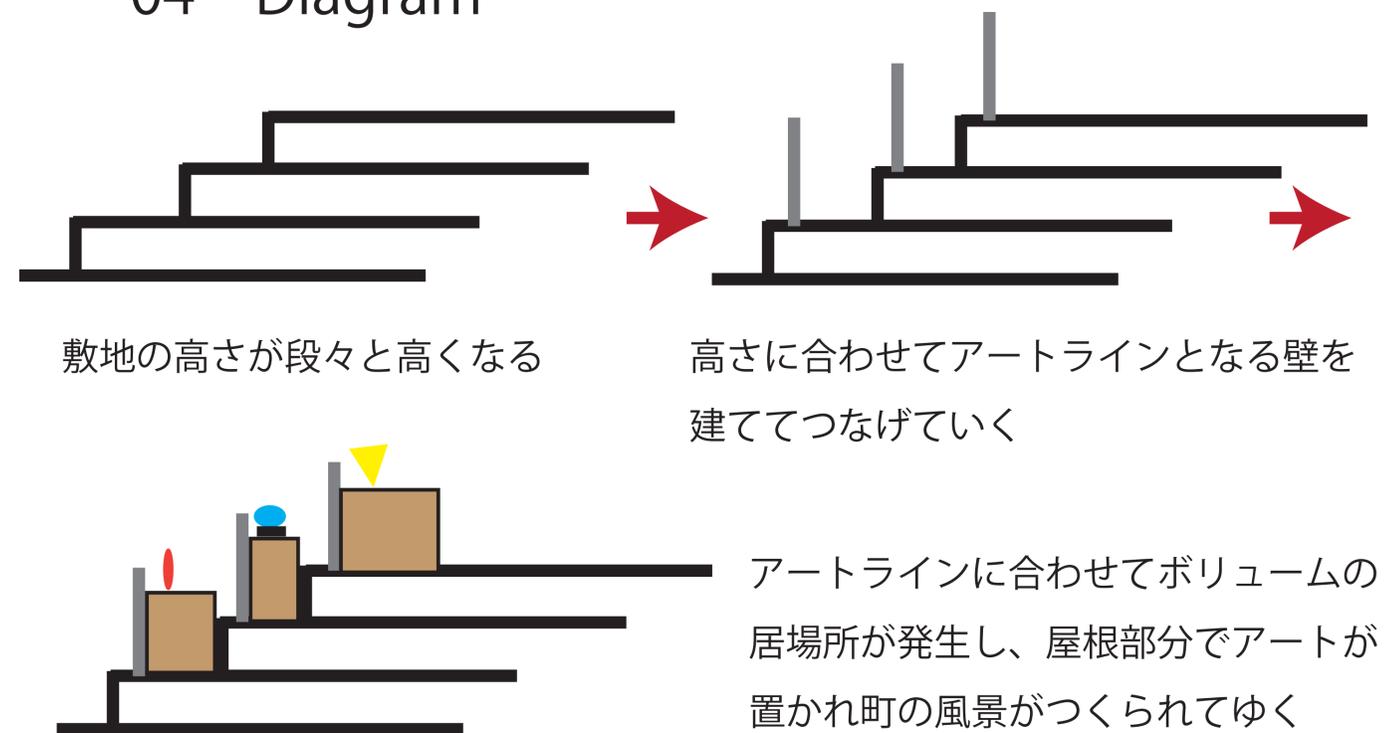
「アート」という媒体が地域・お寺・社会から外れた人たち（はぐれもの）を結び付ける役割を持つ。アートを通じて地域とはぐれものの交流や、お寺との交流が生まれ、再生した町となる。

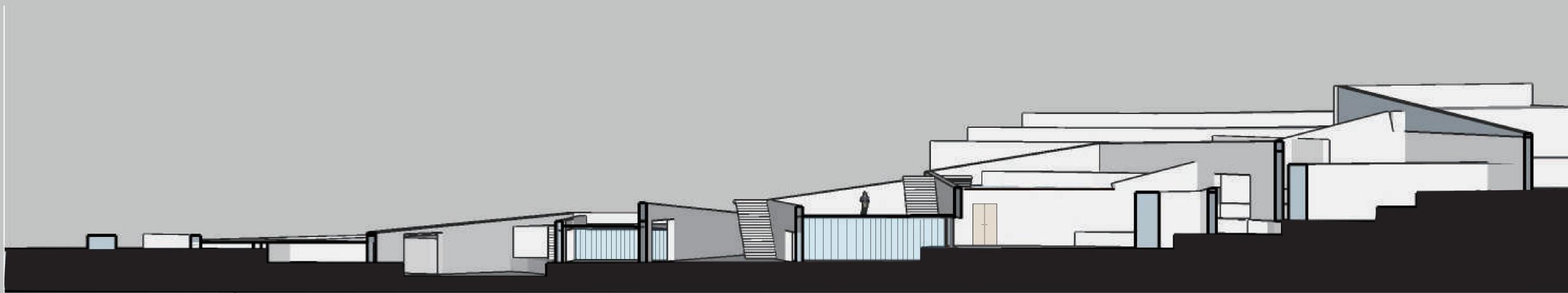


03 Operation

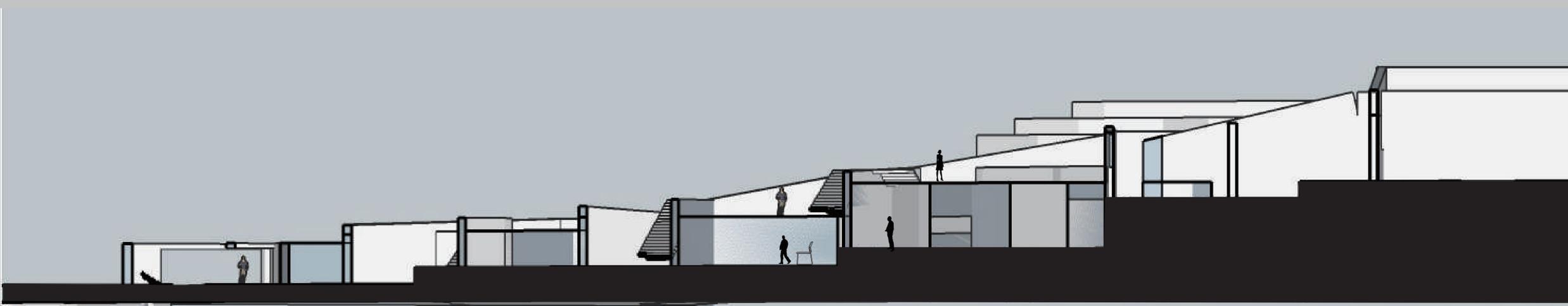
仁王門に向かうにつれて次第に高さが上がっていく地形にそってアートラインを作成した。町でアーティストが作成したものやワークショップを得て作成された彫刻アートがアートラインに沿って置かれたボリュームの屋根に点在する。活動が活発になると彫刻が増え、町の風景がアート集落のような姿になり、そこを見歩く人の流れが起こり始める。最終的に様々な交流の場となることを期待する。

04 Diagram





A-A' 立面图 S=1/200



A-A' 断面图 S=1/200

平面図 S=1/200

